

## 「ChatGPT に高い関心と期待 衝撃裏付ける生活者調査結果」

今年、世の中でヒットした商品やサービス、コンテンツとして、生成 AI（人工知能）「ChatGPT」に対する関心と期待が 2 番目に高いことが、博報堂生活総合研究所の調査で明らかになった。来年以降にヒットが予想されるとみられる商品、サービス、コンテンツでも 3 位となっている。「ChatGPT」はことし 5 月に広島で開かれた先進 7 カ国首脳会議（G7 広島サミット）でも主要議題になるなど、昨年 11 月に米国のオープン AI 社が公開した直後から世界中に広がった衝撃が収まらない。調査結果は、文章を生成する能力を持ち対話型 AI ともいわれる「ChatGPT」に対する関心と期待が多く、日本国民にも広がっていることをうかがわせる。

博報堂生活総合研究所の調査は、首都圏と京阪神圏の 15～69 歳の男女 1,008 人（有効回答数）に対し、9 月 19～25 日、インターネットによる手法で実施された。今年、生活者が関心を示した、あるいは世の中で注目されたと思われる商品やサービス、コンテンツ、出来事として新聞、雑誌、ウェブサイトなどから 80 項目を選び出し、「今年、ヒットしたか、あるいは話題になったか」と「2024 年以降に話題になりそうか、あるいは人々の生活に普及・浸透していそうか」を聞いている。「そう思う」という答えに 100 点、「ややそう思う」に 50 点、「そう思わない」に 0 点を割り振って平均得点を算出し、点数の高い順から順位付けし、理由を分析している。

### 仕事や生活面での活用に期待

「今年、ヒットしたか、あるいは話題になったか」を聞いた結果をまとめた「ヒット実感ランキング」の 1 位は、「QR コード決済」(60.5 点)で 2 位が「ChatGPT (生成系 AI)」(58.5 点)。以下、3 位「国内旅行」(56.0 点)、4 位「ちいかわ」(55.5 点)、5 位「夏祭り/盆踊り/花火大会」(55.0 点)、6 位「日傘」(54.5 点)、7 位「映画『THE FIRST SLAM DUNK』」(54.0 点)、8 位「ハンディファン」(53.5 点)、9 位「バスケット男子日本代表」(52.0 点)、10 位「ひとり〇〇/ソロ〇〇」(49.5 点)、11 位「コンビニやスーパーの無人レジ」(49.0 点)と続く。

「QR コード決済」「ChatGPT (生成系 AI)」「コンビニやスーパーの無人レジ」は、社会インフラ的な技術の普及と期待の高まりを示しており、特に「ChatGPT」は数多く報道されたことで仕事や生活面での活用に対する期待が大きい、と博報堂生活総合研究所はみている。マンガ・アニメ「ちいかわ なんか小さくてかわいいやつ」の主人公「ちいかわ」や、「映画『THE FIRST SLAM DUNK』」はコロ

ナ禍で顕著になったコンテンツにどん欲に接触する生活者の様子が続いている現状を示す。一方、「国内旅行」や「夏祭り/盆踊り/花火大会」はコロナ禍前の行動の復活とみなされ、「日傘」や「ハンディファン」は記録的な猛暑に対して創意を凝らした商品が街中でも目に見える形で広がり、存在感を高めたことを裏付ける、というのが同研究所の見方だ。

### ヒット実感ランキング上位 15

順位	2023 年	2022 年	2021 年	2020 年
1	QR コード決済	睡眠の質を高める乳 酸菌飲料	フードデリバリーサ ービス	ソーシャルディス タンス
2	ChatGPT (生成系 AI)	有料動画配信サー ビス	東京2020オリンピ ック・パラリンピ ック	テレワーク
3	国内旅行	フードロス削減	オンライン授業/学 習	オンライン会議
4	ちいかわ	黙食	家飲み	エコバック
5	夏祭り/盆踊り/花火大会	=5 オンライン診療	携帯電話新料金プ ラ ン	個人が配達するフ ードデリバリー
6	日傘	=5 ネットクーラー	オンラインイベント	マンガ「鬼滅の刃」
7	映画「THE FIRST SLAM DUNK」	サウナ	Ado「うっせーわ」	キャッシュレス決済
8	ハンディファン	=8 フードロス削減	日本人トップアス リ ート	テイクアウト
9	バスケット男子日本代表	=8 映画「トップガン マーヴェリック」	無人・非接触サー ビ ス	ゲームソフト「あつま れ どうぶつの森」
10	ひとり〇〇/ソロ〇〇	=8 脱プラスチック	マスクのファッショ ン・アイテム化	=10 テレビドラマ 「半沢直樹」
11	コンビニやスーパーの無 人レジ	映画「SPY x FAMILY」	オフィス変革国内旅 行	=10 感染防止対策用 品 (マスク以外)
12	省エネ家電	e スポーツ	SDGs	オンライン授業/学習
13	コンビニジム	300 円以上の商品も豊 富な 100 円ショップ	オンライン診療	QR コード決済
=14	紙ストロー、木製スプ ーン	=14 オートミール	14 TikTok	14 オンライン飲み会
=14	睡眠の質を高める商品	=14 国内旅行	15 副業	15 GoTo キャンペーン (GoTo●●●施策)

(博報堂生活総合研究所「2024年ヒット予想&2023年ヒット実感ランキング」、  
「2023年ヒット予想&2022年ヒット実感ランキング」、「2022年ヒット予想&  
2021年ヒット実感ランキング」、「2021年ヒット予想&2020年ヒット実感ラン  
キング」から作成)：数字の前の=は、同順位(タイ)を示す

### 創意に富んだ価値にも向く目

「2024年以降にヒットしそうか、あるいは話題になりそうか」を聞いた結果はどうか。1位は今年の実感ランキングと同じ「QRコード決済」(57.5点)で、今年の実感ランキングで3位だった「国内旅行」(56.0点)が2位に浮上している。「ChatGPT」は54.0点で実感ランキングから一つ順位を落としたものの、「日傘」「夏祭り/盆踊り/花火大会」とともに、同順位の3位に並ぶ。上位をみると、引き続き社会インフラ的な技術、仕組み、制度や、創意に富んだ価値を提供する商品・サービスに目が向いている。さらに、コロナ禍前の生活の単なる復活ではなく、コロナ禍を経て進化したリアル体験を提供してくれるモノ・コトを求めている生活者の様子がうかがえる、と博報堂生活総合研究所はみている。

「QRコード決済」からは、身近な決済が「ピッ」と小気味よく進む快適さが行政サービスや地方などにさらに広がっていくと予想し、「ChatGPT」からは、あっという間に文章が生成されていく様を新鮮と感じる。こうした生活者の姿とともに、物価高騰という生活課題を引きずりながらも、この先も積極的に行動や生活を広げていこうとする意欲や期待がみてとれる、と同研究所は言っている。「国内旅行」(2位)、「夏祭り/盆踊り/花火大会」(3位タイ)、「海外旅行」(7位)、「インバウンド需要の復活」(11位)などからは、旅行や人の集まるイベントなどを通じて海外からの観光客も混じった新鮮な光景の体感が心を動かすと予想する生活者が増えていることがうかがわれる、とも。

### ヒット予想ランキング上位15

順位	2024年	2023年	2022年	2021年
1	QRコード決済	国内旅行	フードデリバリーサービス	キャッシュレス決済
2	国内旅行	有料動画配信サービス	無人・非接触サービス	=2 ドライブレコーダー
=3	日傘	3 フードロス削減	オンライン授業/学習	=2 エコバッグ
=3	夏祭り/盆踊り/花火大会	4 オンライン診療	携帯電話新料金プラン	テレワーク

=3	ChatGPT（生成系 AI）	=5 e スポーツ	オンライン診療	オンライン会議
6	パリ五輪・パラリンピック	=5 脱プラスチック	副業	QR コード決済
7	海外旅行	=5 節電グッズ	=7 オンラインイベント	ソーシャルディスタンス
=8	省エネ家電	8 ショート動画	=7 電気自動車（EV）	=8 東京 2020 オリンピック・パラリンピック
=8	コンビニやスーパーの無人レジ	9 電気自動車（EV）	=7 オフィス変革	=8 5G（ファイブジー）
10	メンズ美容	300 円以上の商品も豊富な 100 円ショップ	SDGs	=8 AI（人工知能）
11	インバウンド需要の復活	若年層の投資教育	国内旅行	テイクアウト」
12	新しい NISA（小額投資非課税制度）	=12 ジブリパーク	冷凍食品・レトルト食品（12）	=12 感染防止対策用品（マスク以外）
13	ハンディファン	=12 サービスロボット	家飲み（=13）	=12 オンライン授業/学習
14	睡眠の質を高める商品	=12 海外旅行	=13 日本人トップアスリート	無人化（無人レジ/無人店舗）
15	オンライン診療	メタバース（15）	=13 LGBTQ	個人が配達するフードデリバリー

（博報堂生活総合研究所「2024 年ヒット予想&2023 年ヒット実感ランキング」、  
「2023 年ヒット予想&2022 年ヒット実感ランキング」、  
「2022 年ヒット予想&2021 年ヒット実感ランキング」、  
「2021 年ヒット予想&2020 年ヒット実感ランキング」から作成）：数字の前の=は、同順位（タイ）を示す

### 復活した AI に対する関心

この調査は 2015 年 10 月末から 11 月初めにかけて実施したのが最初。ちなみにこの時の「2015 年のヒット商品」1 位は「ラグビー・W 杯日本代表チーム」で、「2016 年ヒット予想」1 位は「急増する外国人観光客」だった。以来、毎年同じ時期に実施して来ているが、AI 関連の調査結果は「AI(人工知能)技術」が「2016 年ヒット商品」で 12 位、「2017 年ヒット予想」で 2 位に入っている。さらに「2019 年ヒット商品」「2020 年ヒット予想」「2020 年ヒット実感」「2021 年ヒット予想」でも「AI(人工知能)」という項目名で 20 位内に続けて顔を出していた。

しかし、「2021 年ヒット実感」以降は、今回、公表された「2023 年ヒット実感」に「ChatGPT（生成系 AI）」という項目名で 2 位に復活するまで、AI 関連の商品やサービス、コンテンツは 30 位内から姿を消していた。ChatGPT の登場が AI に対する関心と期待を急に高めたことが過去の調査結果から見て取れる。

### 進む国際的活用ルールづくり

「ChatGPT」は公開直後から国内外の指導者たちにも大きな衝撃を与えた。4 月に高崎市で開かれた「先進 7 カ国（G 7）デジタル大臣会合」では「生成 AI 技術の持つ機会と課題を早急に把握し、技術が発展する中で、安全性と信頼性を促進し続ける必要性を認識した」と、閣僚宣言に明記されている。5 月の「G 7 広島サミット首脳宣言」にも、生成 AI の活用や開発、規制に関する国際的なルールづくりを推進する「広島 AI プロセス」の創設が盛り込まれている。これを受けて高度な AI システムの能力、限界、適切・不適切な利用領域の公表や、政府、市民社会、学界との間での責任ある情報共有などさまざまな責務を AI 開発者に求める基準づくりに向けて国際的作業が進行中だ。

教育現場での影響を重視する文部科学省も、7 月に「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を公表済み。多大な利便性を持つ反面、個人情報流出、著作権侵害のリスク、偽情報の拡散、批判的思考力や創造性、学習意欲への影響などさまざまな懸念も指摘されている。こうした現状に注意を促したうえで、活用が期待される具体例と不適切な具体例を示した踏み込んだ指導指針となっている。

### 見直し迫られる大学入試、教育

教育関係者、研究者たちの関心も当然大きい。5 月に富山、金沢両市で開かれた「先進 7 カ国（G 7）教育大臣会合」主席のため来日したシュライヒャー経済協力開発機構（OECD）教育・スキル局長は、日本記者クラブでの記者会見で「AI はいずれ必ずほとんどの大学入試問題を解けるようになる」と言い切っている。さらに AI が代替できない意識や概念を理解できる人間の思考力を問い、人間の能力の限界を広げるような大学入試への変更も強く求めた。

9 月に同じ日本記者クラブで記者会見した中尾政之東京大学工学部教授も、ChatGPT が自身の専門である生産工学や加工工学の分野で現段階でも十分、役に立つ能力を持つことを明らかにしている。「設計の初心者が使うと有効な知識が得られる」と。さらにシュライヒャー氏同様、大学入試が見直しを迫られてい

る現状に触れたほか、「知識を覚えさせるだけではなく、創作できる人間、まずは議論して考えさせる人間を大量生産する大学に変わる必要」も強調していた。

### 高い若者の関心

では、日本の若者は ChatGPT をどう見ているのか。博報堂生活総合研究所の調査レポートは、年齢・性別の調査結果も示している。2024 年以降でヒットしそう・話題になりそうな商品やサービス、コンテンツとして ChatGPT が 60~69 歳の男性で 3 位 (49.5 点)、60~69 歳の女性で 9 位 (52.0 点) になっているように、年齢・性別を問わず ChatGPT に対する関心が高いことが分かる。中でも唯一、1 位に挙げているのが 15~19 歳男性 (62.0 点) であるのが目を引く。15~19 歳女性も順位は 9 位であるものの年齢・性別比較では 63.5 点とも最も高い点数をつけている。

若い層が特に ChatGPT に対する関心が高いことをうかがわせる資料としては、日本財団が 9 月 1 日に公表した生成 AI をテーマにした「18 歳意識調査」結果もある。17, 18, 19 歳の男女 1,000 人を対象に 8 月 19, 20 に実施したインターネット調査で、36.1%が「生成 AI を使ったことがある」と答えている。生成 AI を使ったことがある人のうち「テキスト生成 AI」を挙げた人が 92.8%と最も多かったが、「画像生成 AI」が 31.3%、「動画生成 AI」が 5.5%、「音声生成 AI」が 4.7%、「音楽生成 AI」が 3.0%と、さまざまな活用をしている実態を示す結果となっている。

日文 小岩井忠道 (科学記者)

### 関連サイト

博報堂生活総合研究所調査レポート「[2024 年ヒット予想&2023 年ヒット実感ランキング](#)」

外務省「[G7 広島首脳コミュニケ \(2023 年 5 月 20 日\)](#)」

日本財団「[日本財団 18 歳意識調査結果 第 57 回テーマ「生成 AI」](#)」

### 関連記事

2023 年 09 月 20 日 [“ChatGPT 可以帮助设计，大学教育和高考也将改变？”](#)

2023 年 05 月 25 日 [OECD 司长为应用 AI 建言：“需从根本上重新审视教育和入学考试”](#)